

平成30年度菊間国家石油備蓄基地総合防災訓練の実施について

10月16日(火)、菊間事業所において防災訓練計画に基づき、独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構の主催により、平成30年度 総合防災訓練が行われました。

陸上訓練は、南海トラフ巨大地震(菊間町は震度6弱)が発生し、原油タンク(TK-107)の付属配管から原油(約100L)が漏洩、防油堤に亀裂、サービストンネル内で所員が負傷した。その後、原油タンク(TK-107)でリング火災が発生し、消火活動後に「津波警報」が発令されたとの想定で、関係機関通報訓練、広報活動訓練、災害応急活動訓練(漏洩停止措置、土のう構築)、負傷者救出・救急搬送訓練、防消火訓練および避難訓練他を実施しました。

また、海上訓練では、TK-107の付属配管から漏洩した原油がガードベースンを経由し海上に流出した、との想定で、関係機関通報訓練、油防除拡散訓練(オイルフェンス展張訓練、油回収・拡散処理訓練)他を実施しました。

訓練参加機関は、基地の自衛防災組織の他、今治西消防署・菊間分署、今治海上保安部、共同防災組織(太陽石油(株)四国事業所と菊間基地で構成)、波方ターミナル(株)、太陽テクノサービス(株)の6機関に参加頂き、総員約100名、訓練車両13台、船舶8隻で、連携の取れた緊迫感のある訓練を行いました。



公設消防車到着



防油堤亀裂部への土嚢構築



サービストンネルからの負傷者救出・救護



タンクへの冷却散水


 オイルフェンスの展張および
浮遊油の拡散


総合防災訓練終了式